

## 平成31年度第1回青梅市文化財保護審議会会議録

日 時：平成31年4月18日（木）午後2時から午後4時まで

場 所：本庁舎議会棟3階大会議室

出席委員（敬称略）：河東義之、稲葉政満、沖川伸夫、保坂一房、棚橋正道、  
久保田正寿、西村慎太郎

欠席委員（敬称略）：山本勉、馬場憲一、神庭正則

事務局：岡田芳典教育長、渡辺慶一郎教育部長、北村和寛文化課長  
木下裕雄郷土博物館管理係長、岡本拓也郷土博物館管理係主任

開会（文化課長進行）

### 1 教育長あいさつ

### 2 報告事項

#### (1) 平成30年度事業報告について

事務局から、平成30年度事業結果について説明。

#### 質疑・応答・意見

【委員】市指定天然記念物「御嶽神社参道の杉並木」の剪定伐採について、所有者の負担が高額であるが、所有者は団体であるのか。

【事務局】所有者は武蔵御嶽神社であるので、負担割合は、市が三分の一、所有者が三分の二である。

#### (2) 平成31年度事業計画について

事務局から、平成31年度事業計画について説明。

#### 質疑・応答・意見

【委員】重要文化財「観音寺本堂・阿弥陀堂・仁王門」の消火設備工事について、以前、成木の安楽寺に放水銃設備を設置した際に、境内を掘って都天然記念物「安楽寺の大スギ」の根を切ってしまったため、大スギの樹勢が衰えたことがあるので、

注意して進めていただきたい。

【事務局】 観音寺の場合は、もともとあった道路の下を掘って進めるため心配ないと考えるが、立会い調査を行ない、埋蔵文化財も含め、注意して実施する。

(3) 「青梅のフセギのワラジ」の文化財指定について

事務局から、新たに東京都無形民俗文化財に指定された「青梅のフセギのワラジ」について説明。

質疑・応答・意見

【委員】 指定にあたり調査などは行なったのか。

【事務局】 今回は、10年前くらいに行なった「東京都祭り・行事調査」を再評価したことによる指定である。

【委員】 今寺の一本榎は指定の範囲外になったのか。

【事務局】 今寺のフセギのワラジについては、現在は1カ所しか実施していないため、今回の指定対象からは外れた。

【委員】 指定になったのは、何か所もやっているということか。

【事務局】 谷野地区では8カ所行、岩蔵地区では6カ所、フセギのワラジを実施している。

(4) 指定文化財の現状変更や台風による復旧状況等について

事務局から、平成30年度の現状変更や、台風24号による復旧状況について説明。

質疑・応答・意見

【委員】 東京都指定有形民俗文化財「旧稲葉家住宅」について、土蔵の中の竹も腐っているような感じであるが、原因としては、水がそこにだけ入ってしまったということなのか。

【事務局】 当時の工事業者とも確認を行い、また、東京都にも相談したところ、土蔵の外壁に水がしみ込んで腐らせたことが原因と聞いている。

【委員】 細かいところまで原因を突き詰めてほしい。

【事務局】 原因をしっかりと確認し、今後同じようなことが起きないように

に注意する。

【委員】市指定史跡「今井城跡」について、境域内の巨木を計画的に伐採し、太陽光が十分入るような形にしたら良いと考えるが、そのような計画はないのか。

【事務局】昨年10月、青梅市内を通過した台風による倒木の伐採等を行なったが、引き続き地元と相談しながら取り組んでいきたい。

【委員】台風被害による修理は、残すところ、旧稲葉家住宅と海禅寺でよろしいか。

【事務局】そのとおり。

(5) 文化財保護法に基づく文化財保存活用大綱・「文化財保存活用地域計画・保存活用計画の策定等に関する指針」の策定について

事務局から、文化財保護法の改正にもとづく今後の流れについて説明。

#### 質疑・応答・意見

【委員】個人的には、青梅市は文化財が多いので、独自の地域計画を作ってもいいと思うが、国や都の補助金の関連もあるので、都の大綱が出来てから、市の地域計画をじっくり作ったほうがいい。

【事務局】前回の審議会でも地域計画を作るに当たって、他の文化財が取り残されることがないように慎重に作ってほしいとの意見をいただいた。今後も引き続き、色々な意見や情報をいただきたい。

(6) その他

#### 質疑・応答・意見

特になし。

### 3 協議事項

(1) 森下陣屋のカシの指定解除について

事務局から、台風24号の被害による、森下陣屋のカシの倒木に伴う指定解除について説明。

#### 質疑・応答・意見

- 【委員】二代目のカシを市天然記念物に指定するという要望だが、近い事例として、金剛寺の青梅や地藏院の宝珠梅の2つある。しかし、いずれも蘘（ひこばえ）による世代交代であり、今回のカシとは違うので、カシの幼木を指定するのは難しいと考える。
- 【委員】特殊なカシであれば指定することも検討できると思うが、おそらく天然記念物に指定されたのは数百年の樹木であるからであり、幼木にはその価値は引き継がれないと考える。
- 【委員】今回倒木した一部を輪切りにして、解説板とともに置いてもらえたら良いと思う。
- 【事務局】輪切りは3つ作り、2つは地元で、1つは博物館で保管するという予定になっている。博物館内や旧稲葉家住宅で展示できればと考えている。
- 【委員】今後、森下陣屋のカシは指定を解除するという事によろしいか。
- 【委員】異議なし。

#### (2) 旧吉野家住宅の保存活用計画の作成について

事務局から、東京都指定有形文化財の旧吉野家住宅の保存活用計画の作成について説明。

#### 質疑・応答・意見

- 【委員】旧吉野家住宅の保存活用計画を作成することについて、協議会を設置するのであれば、建築や民俗関係で審議会委員から何人か協力できればと考えている。
- 【委員】この保存活用計画は、今回の文化財保護法の改正にもとづく保存活用計画のことであるか。
- 【事務局】法改正とは別で、従来から作成している計画のことである。
- 【委員】では、今後、計画を作成するという事によろしいか。

【委員】異議なし。

(3) 美術館および郷土博物館の複合化検討について

事務局から、美術館と郷土博物館の複合化検討について、スケジュールや体制図などを説明。

質疑・応答・意見

- 【委員】美術館運営委員と合同で会議を開催するのは良いと考える。ただし、複合化に対してははじめから否定的だと建設的な議論が進まないのでは、今ある条件のもとで、どうやったら良いものを作っていけるかという意見交換を行うことが必要である。
- 【事務局】合同会議に際して、現状や課題が見えるような形で、現地視察を行ない、それにあわせて意見交換を行いたい。
- 【委員】なぜ複合化しなければいけないのか、今までの経過を丁寧に説明した方が良い。
- 【事務局】もともと東青梅一丁目事業地内の複合施設構想の中に博物館と美術館が盛り込まれていたが、規模的な点から対象として除かれるという経緯の中で、両施設の複合化検討という話になった。ただ、美術館も電気設備が老朽化しており、空調も全面改修の必要がある点や、吉川英治記念館の寄附を受けるという動きもある中で、どのような可能性があるか、それぞれの委員の方々から意見をいただければと考える。
- 【委員】美術館と博物館を合わせることで新しいものが生まれてくるような、未来に向けての展望がないといけないと考える。美術館側の方々と意見交換しながら、より良い将来像を築ければ良いと思う。
- 【委員】複合化だけでは現実的でないのでは、他の可能性を考えることも検討した方が良いと思う。
- 【委員】複合化によって人員配置や組織自体が縮小化されてしまうのが怖い。収蔵などは、近現代のものが増えていくので確保が重要であるが、展示はバーチャルになると思うので、縮小していく可能性があるかと考える。

【委員】財政事情が厳しいというのは実感しており、今回の複合化についても両施設の意義を出した方が良くと思う。

【委員】美術館と博物館を再編して、新しい文化館を作っていくという風に考えた方が良くと思う。

【事務局】博物館の現状として、文化財など資料の保存環境には課題がある。この機会に複合化の検討に向けて、ご協力をいただけたらと思う。

#### (4) その他

##### 質疑・応答・意見

特になし。

#### 4 次回の開催について

【委員】次回は7月11日とする。

#### 5 その他

##### 質疑・応答・意見

特になし。

閉会（会長）